



登録文化財保存活用シンポジウム（第1回）

**参加費
無料**

「文化財建造物の保存修理」

愛知登文会は設立して10年目となりました。今年度は全3回の保存活用シンポジウムの開催を予定しています。第1回では、所有者の皆さまにとって大きな課題となっている文化財建造物の保存修理に関して、各種制度を利用して改修が行われている愛知県内の2つの事例についてお話しを伺います。

今回は、オンライン形式での開催となります。はじめての試みで戸惑うこともあろうかと思いますが、よろしくお祈りいたします。

◆日時 2020年10月21日（水）14:00～16:30

◆会場 Zoomを利用したオンライン開催

◆参加費無料 定員40名程度

◆プログラム

開催時間	講師・内容
14:05～ 14:50	<p>木綿蔵ちたの改修—文化庁磨き上げ事業の活用</p> <p>講師：真田泰光氏（知多市歴史民俗博物館） 本山幸二氏（あいちヘリテージ協議会 設計工房エム）</p> <p>知多市岡田地区にある登録有形文化財の木綿蔵。市民団体が木綿の機織りを後世に伝える施設として活用。登録文化財として磨き上げ事業を活用した愛知県第1号。</p> 
14:50～ 15:35	<p>寿々家の改修—クラウドファンディングの活用</p> <p>講師：天野博之氏（地域人文化学研究所）</p> <p>豊田市足助の町並み（重伝建）にある旧料亭。平成25年から再生プロジェクトを開始。様々な助成等を利用して、再生と活用を同時に展開。平成30年にクラウドファンディングで500万円余を集め、それを資金の一部にして、本格的な改修工事に着手。</p> 
15:35～ 16:30	<p>意見交換</p> <p>愛知登文会小栗会長をコーディネーターとして、参加者の皆さんも交えて意見交換を行います。</p>

参加方法

以下の申込フォームより、10月14日（水）までに参加者情報をご記入ください。前日までに資料とZoomでのオンラインシンポへの接続のご案内を送信します。

<https://forms.gle/s2SvozvdrR8TFVQ8>

（右のQRコードからも申込が可能です）

※Zoomのインストール等のシンポ参加のための環境は、当日までに各自で準備をお願いします。



愛知登文会事務局 名古屋テレビ塔株式会社内
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目6番15号先
 TEL (052)-971-8546 FAX (052)-961-0561
 E-mail info@aichi-tobunkai.org
 ホームページ <http://www.aichi-tobunkai.org/>
 フェイスブック <https://www.facebook.com/aichi.tobunkai>

◇主催
 愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

◇助成
 令和2年度文化庁文化芸術振興費補助金
 「地域文化財総合活用推進事業」

